

看護初期実習

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：実習

単 位：1単位

講義時間：45時間

■**科目のねらい**：看護初期実習は、看護職が活動する地域の保健・医療・福祉の場において、看護職や関連職種の活動を見学体験し、保健・医療・福祉分野への関心と理解を深め、看護学を学ぶ動機づけとする。看護の実際を見学することにより、他職種の専門性と看護職とのかかわりを理解する。

- 到達目標**：①看護の対象は、様々な健康レベルにある人々であることを知る。
②人々の健康生活を支える看護実践の場を知る。
③保健・医療・福祉施設での看護場面を通して、看護の役割を考える。
④対象者の健康上のニーズの充足に対して保健・医療・福祉に関わる他職種との連携を知る。
⑤看護を学ぶ上での自己の目標を持つことができる。
⑥看護学生として責任ある行動をとることができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

○貝谷 敏子・上村 浩太・大野 夏代・神島 滋子・菅原 美樹・藤井 瑞恵・古都 昌子・本田 光・村松 真澄・守村 洋・伊東 健太郎・工藤 京子・小坂 美智代・櫻井 繭子・田中 広美・原井 美佳・三上 智子・矢野 祐美子

■**授業計画・内容**：

1. オリエンテーション

看護初期実習の目的・目標・実習方法等、および実習施設の概要について、オリエンテーションを行う。

(実習前、および6月5日)。

2. 施設実習（詳細は実習要項を参照のこと）

<実習方法>以下の日程で見学実習を行う。

6月6日～8日：病院・施設での実習

<実習施設>

<保 健>

・札幌市中央健康づくりセンター・札幌複十字総合健診センター・札幌がん検診センター
・北海道病院健康管理センター（JCHO）・札幌厚生病院

<医 療>

・市立札幌病院

<福 祉>

・札幌市老人福祉センター

3. 実習のまとめ（学内）（6月9日）

■**教科書**：使用しない。

■**参考文献**：適宜、指示する。

■**成績評価基準と方法**：実習内容および記録（80%）、実習レポート（20%）から実習目標の達成度を総合的に評価する。

評価方法	到達目標						評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④	到達目標⑤	到達目標⑥		
実習記録	◎	◎	◎	◎	○		ループリックで評価	30%
実習態度	○	○	○	○	○	◎	8. 実習の留意事項	30%
記録物	○	○	○	○	○		ループリックで評価	20%
実習レポート	◎	◎	◎	◎	◎		ループリックで評価	20%
出席							2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：看護初期実習では、看護を広く概観し、現場での経験からひとりひとりが感じ取ったことを、次の学習に活かすことを目指しています。体調を十分に管理して履修しましょう。